

8-29-01

Attorney Docket No. 1614.1173

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Hiroshi OKI

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: June 20, 2001

Examiner:

For: PAYBACK SYSTEM, PAYBACK METHOD, AND RECORDING MEDIUM



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 11-000425


Filed: January 5, 1999

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: June 20, 2001

By: 
H. J. Staas
Registration No. 22,010

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1040 U.S. PTO
09/883913
06/20/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

1999年 1月 5日

出願番号

Application Number:

平成11年特許願第000425号

出願人

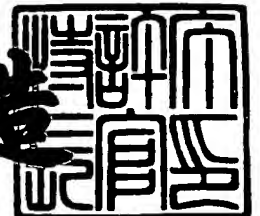
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 5月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3038290

【書類名】 特許願

【整理番号】 9804366

【提出日】 平成11年 1月 5日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明の名称】 ネットワークサービス・ペイバックシステム

【請求項の数】 4

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 沖 宏志

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100072590

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 井桁 貞一

 【電話番号】 044-754-3035

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 011280

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9704486

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークサービス・ペイバックシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 配布した端末により顧客ごとに有償で提供するネットワークサービスにともなう端末配布者へのペイバックシステムであって、

端末を識別する端末識別情報に対応してその端末を配布した端末配布者を記憶する配布経路記憶手段と、

顧客を識別する顧客識別情報と顧客がネットワークサービス提供者に登録する端末識別情報とを対応させて記憶する端末情報記憶手段と、

端末配布者ごとに、配布経路記憶手段に対応して記憶された端末識別情報に対応して、端末情報記憶手段に記憶された顧客識別情報、および別途収集された顧客識別情報に対応したネットワークサービスの利用実績情報に基づいて、ネットワークサービス提供者が端末配布者に支払うペイバックを算出するペイバック算出手段と、

を有するネットワークサービス・ペイバックシステム。

【請求項 2】 上記利用実績情報は顧客が利用したネットワークサービスの利用金額である請求項 1 記載のネットワークサービス・ペイバックシステム。

【請求項 3】 上記利用実績情報は顧客のネットワークサービスへの加入期間である請求項 1 記載のネットワークサービス・ペイバックシステム。

【請求項 4】 配布した端末により顧客ごとに有償で提供するネットワークサービスにともなう端末配布者へのペイバック処理プログラムであって、

コンピュータを、

端末を識別する端末識別情報に対応してその端末を配布した端末配布者を記憶する配布経路記憶手段、

顧客を識別する顧客識別情報と顧客がネットワークサービス提供者に登録する端末識別情報とを対応させて記憶する端末情報記憶手段、

端末配布者ごとに、配布経路記憶手段に対応して記憶された端末識別情報に対応して、端末情報記憶手段に記憶された顧客識別情報および別途収集された顧客識別情報に対応したネットワークサービスの利用実績情報に基づいて、ネットワ

ークサービス提供者が端末配布者に支払うペイバックを算出するペイバック算出手段、

として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークに接続されるクライアントごとに有料で提供するネットワークサービスにともなうペイバックシステムに関する。ここでクライアントは専用端末あるいはパソコン等汎用端末で動作する専用ソフトを示し、上記特許請求の範囲で示した端末はこれら専用端末あるいは専用ソフトを意味するものである。例えば、サーバはCATV会社、衛星通信会社、インターネットプロバイダなどであり、クライアントはネットワーク、サーバを経由して各種番組や情報を受信できるセットトップボックスやパソコンにインストールして特定サーバにアクセスする専用ソフトなどがこれらに相当する。

【0002】

【従来の技術】

現在、サーバとクライアントで構成されるシステムにより提供される各種、有料のネットワークサービスがある。この有料ネットワークサービスの中には、マシンID（端末ID）とユーザIDでサービス管理を行い、特定のマシンに登録されたユーザIDに課金して有料でネットワークを経由して各種サービスを提供するものがある。また、パソコン等ユーザの手持ちのマシンに特定の専用端末ソフトをインストールした各特定のマシンごとに、登録されたユーザIDに課金してサービスを行うものがある。

【0003】

また、クライアント（端末あるいは端末ソフト）が販売されるとき製品の保証書が添付されることが行われている。その目的はその名前の通り製品の不具合があったときに保証するための証書である。一般的には製品に添付された紙の帳票であるが、電子化した保証書も提案されている。例えば、製品の製造者、流通販

売者、購入者が販売された製品の保証に関連する情報を電子的に共有して保持する方法が特開平 10-105626（電子保証書の発行・管理システムと方法）に開示されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

一般的に、ネットワークサービスにおいてサーバは顧客を多く獲得して多くのネットワークサービスを利用してもらうことが業績向上の鍵である。そのためには、多くの魅力ある情報を提供することが先決であるが、ネットワーク上に不特定多数の利用者を獲得する必要がある。

【0005】

一方、利用者はサーバとの情報送受のためにハード的あるいはソフト的に専用のクライアントが必要となり、利用者へのこれらのクライアントの配布、浸透の効果的な実施がなされることが期待される。

【0006】

このため、ネットワークサービスにおいては、クライアントの価格は一般に低く抑えて販売される傾向があり、パソコンで使用される専用端末ソフトはネットワークを通じてオンラインで提供できることもあり無料で配布される場合もある。すなわち、ネットワークサービスによる収入は接続の道具であるクライアントの販売収入に頼るのではなく、ネットワークサービスの各種メニューを利用してもらうことにより対価を得る構造となっている。したがって、サーバの方は長期にわたる期間継続してサービス収入が見込める場合が多い。

【0007】

以上のことから無料あるいは低価格のクライアントを配布するディストリビュータの拡販、配布意欲を引き出すために、クライアントのディストリビュータに対してはペイバックを支払うことがある。ペイバックは従来はディストリビュータの自己申請等による簡単な方法でしか行えなかった。例えば、クライアントの売り上げごとに1台いくらかというようにディストリビュータに手数料を払い戻すようなペイバックが行われていた。

【0008】

しかし、より多くの顧客獲得の手段としての、クライアントの大量配布、大量販売、より多くのネットワークサービスの利用促進、長期継続利用の推進を実現する有効な手段が課題でありその解決策が求められていた。

【0 0 0 9】

本発明はこのような点にかんがみて、
クライアントを有償あるいは無償で配布するディストリビュータの配布意欲、活用支援意欲を向上させるペイバック手段を提供することを目的とする。

【0 0 1 0】

【課題を解決するための手段】

上記の課題は下記の如くに構成されたネットワークサービス・ペイバックシステムによって解決される。

【0 0 1 1】

図 1 は、配布した端末により顧客ごとに有償で提供するネットワークサービスにともなう端末配布者へのペイバックシステムであって、

1 は端末を識別する端末識別情報に対応してその端末を配布した端末配布者を記憶する配布経路記憶手段であり、2 は顧客を識別する顧客識別情報と顧客がネットワークサービス提供者に登録する端末識別情報とを対応させて記憶する端末情報記憶手段を示す。4 は端末配布者ごとに、配布経路記憶手段 1 に対応して記憶された端末識別情報に対応して、端末情報記憶手段 2 に記憶された顧客識別情報、および別途収集された顧客識別情報に対応したネットワークサービスの利用実績情報に基づいて、ネットワークサービス提供者が端末配布者に支払うペイバックを算出するペイバック算出手段である。

【0 0 1 2】

【発明の実施の形態】

図 2 は本発明の実施の形態の説明図である。2 1 はネットワークサービスのサービス事業者、2 2 は端末流通業者、2 4 は利用者端末、そして、2 3 はこれらをつなぐネットワークを示す。以下にネットワークサービスにおけるこれらの関係を説明する。

【0 0 1 3】

まず、サービス事業者 21 は端末流通業者 22 に端末の流通委託を行う。端末はハード（物）である場合は一台ごとに製造番号あるいは製品出荷時に付けられるシリアル番号によって区別できるようにしている。また、配布する端末がソフトであるようなときは、パソコン上で機能するプログラムを格納した CD-ROM のような電子媒体あるいはネットワーク上でオンライン提供する場合もあるが、シリアル番号により各提供単位を示す。ここではこれらを共通に扱えるようにシリアル番号をもって端末 ID とする。

【0014】

端末流通業者 22 は店頭ではセットトップボックスなどのハード端末やソフトを記録した CD-ROM 等の電子媒体を利用者に販売、配布する。有償の商品については販売時点で製品の保証として、端末のシリアル番号とともに利用者の情報を記録して保証書を発行し、利用者に渡すとともに流通の依頼元であるサービス業者に通知する。無償で配布する端末用ソフトは保証書の形式で配布することはないが、配布した端末 ID すなわち媒体に添付されたシリアル番号を利用者の情報とともにサービス事業者へ通知する。これによりサービス事業者は端末流通業者が流通した端末の ID（シリアル番号）を知ることができる。

【0015】

次に、端末を入手した利用者はネットワークを通じてのサービス事業者との最初の接続で、端末のシリアル番号他の利用者情報の提示を行うと共にサービス事業者が発行する利用者 ID を得る。このときサービス事業者はネットワークサービス利用実績を記録するために、端末 ID であるシリアル番号と利用者 ID を対比して登録することができる。

【0016】

以降、利用者は利用者端末からサービス事業者にアクセスしてネットワークサービスを受けることができる。サービス事業者は利用者端末からの利用実績すなわち接続料、利用した機能等により利用料を回収することができる。

【0017】

上記した利用実績記録によりネットワークサービス事業により得た収入への貢献度に応じて、すなわち端末 ID ごとにその端末を配布した端末流通業者にペイ

バックを行うようにしている。

【0 0 1 8】

なお、オンラインでのソフトの配布は同一シリアル番号で配布しても、それを流通した端末流通業者が特定できるように代表番号で置き換えても本発明の効果は得られる。

【0 0 1 9】

以下に、ネットワークサービスを運用するときのペイバックシステムのペイバック算出手段について説明する。

【0 0 2 0】

図 3 には本発明の実施の形態の構成図を示す。

【0 0 2 1】

本実施の形態においては、パーソナルコンピューター、ワークステーション等の汎用的な目的で使用される計算機上で実行するコンピュータプログラムにより実現する形態を示す。

【0 0 2 2】

本発明のネットワークサービス・ペイバックシステムは、処理装置、主記憶装置、補助記憶装置、入出力装置などから構成される計算機上で、コンピュータプログラムを実行して実現される。また、コンピュータプログラムは、フロッピーディスクやCD-ROM等の可搬型媒体やネットワーク接続された他の計算機の主記憶装置や補助記憶装置等に格納されて提供される。本発明の記録媒体は、上記可搬型媒体、主記憶装置、補助記憶装置に該当する。

【0 0 2 3】

提供されたコンピュータプログラムは、可搬型媒体から直接計算機の主記憶装置にロードされ、または、可搬型媒体から一旦補助記憶装置にコピーまたはインストール後に、主記憶装置にロードされて実行する。また、ネットワーク接続された他の装置に格納されて提供された場合も、他の装置からネットワークを経由して受信後に、補助記憶装置にコピー、主記憶装置にロードされ実行するものである。

【0 0 2 4】

図 3 において、端末配布管理部 3 3 は端末のシリアル番号ごとにあらかじめ端末流通業者を決めて配布するもの、あるいは端末を販売するときに保証書の返却を受けて端末流通業者を端末のシリアル番号に対応させるものなどがあるが、これらの対応を入力部 3 0 から入力して配布経路情報ファイルに設定するものである。

【 0 0 2 5 】

端末情報管理部 3 4 は端末を入手した利用者がネットワークサービスを受けるために最初に行う利用者登録で端末のシリアル番号とネットワークサービス部 3 5 が発行する利用者 ID とを対応させて端末情報ファイルに設定するものである。

【 0 0 2 6 】

ネットワークサービス部 3 5 は利用者端末 3 9 に対してネットワークサービスを提供するとともに利用者端末からのサービス利用実績を利用実績情報ファイル 3 8 に記録するものである。

【 0 0 2 7 】

ペイバック算出部 3 2 は上記配布経路情報ファイル 3 6、端末情報ファイル 3 7、利用実績情報ファイル 3 8 に格納された情報に基づいて、端末を配布した端末流通業者に支払うべきペイバックを算出するものである。

【 0 0 2 8 】

以下に各ファイルの格納状態とそれらにもとづいてペイバックを算出する動作について説明する。

【 0 0 2 9 】

図 4 には配布経路情報ファイルの構成を示す。ここには端末 ID となる端末シリアル番号と端末流通業者 ID とを対比させている。AAA001 乃至 AAA005 のように端末流通業者が端末の販売の証拠としてハード端末の保証書の写しをサービス事業者に提出した内容を登録したり、BBB001～BBB099 のようにサービス事業者がまとめて端末流通業者に端末ソフトの配布を委託したりする場合がある。したがって、端末 ID (シリアル番号) が与えられたとき配布経路情報ファイルを検索することにより対応する端末を配布した端末流通業者を

知ることができる。

【0030】

図5には端末情報ファイルの構成を示す。利用者がネットワークサービスを受けるために利用者登録を行うときに、入手した端末のIDとして端末シリアル番号をオンラインの会話によりサービス事業者に送る。この登録の結果として、利用者IDは利用者に与えられるものである。利用者IDが与えられたとき、利用者IDをキーとしてこの端末情報ファイルを検索することにより利用者端末のシリアル番号を知ることができる。

【0031】

図6は利用実績情報ファイルの構成である。ネットワークサービスを受けたときには利用時間、利用機能などの記録を行い、これらから定められた期間ごとに、また利用者IDごとに利用料を算出して利用実績情報ファイルに利用者IDに対応した形式で格納される。また、利用者登録した日も登録日として記録される。

【0032】

図7にはペイバック算出部の動作フローチャートを示す。ここでは、一つの端末流通業者に対するペイバックの算出の動作を示す。すなわち、入力部から指示した端末流通業者IDに対応するペイバックを算出し結果を出力する動作について説明する。

【0033】

ステップS71で入力部からペイバックする端末流通業者のIDを入力する。ステップS72で、指定された端末流通業者IDをキーとして配布経路情報ファイルを検索して対応する端末シリアル番号、すなわち指定された端末流通業者が配布した端末をすべて探し出して一時記憶する。

【0034】

ステップS73では上記一時記憶された端末シリアル番号のそれぞれに対応する利用者IDを端末情報ファイルを検索して一時記憶する。ここに抽出された利用者IDは先に指定された端末流通業者が配布した端末を使用してネットワークサービスを利用した利用者を示す。

【0035】

ステップS74からステップS77により上記抽出された利用者の利用実績を積算して集計する。ステップS76で抽出したすべての利用者IDについて集計が完了したことを検出してステップS78でネットワークサービス利用実績の積算値にあらかじめ設定された割合のペイバックを算出して出力部に出力する。

【0036】

なお、ここでは利用実績として支払われた利用金額を用いたが、利用者登録されてから現在までの継続登録期間に基づいてペイバックを算出してもよい。算出方法として定率を用いたが他の関数あるいは論理を用いてペイバック値を評価してもよい。さらにペイバックを算出する時点に利用者として登録されていることだけを評価して、すなわち利用者数だけでペイバックを算出してもよい。

【0037】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように本発明によれば、ネットワークサービスの端末機器あるいは端末ソフトの配布によりユーザを獲得しネットワークサービス事業の収入に貢献したことに対応してペイバックすることができ、ネットワークサービスの利用者拡大のための端末流通業者の拡販意欲向上と端末流通業者によるネットワークサービス活性化が図れ、情報化社会の発展に寄与する、という工業的效果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の構成図

【図2】 本発明の実施の形態の説明図

【図3】 本発明の実施の形態の構成図

【図4】 配布経路情報ファイルの構成

【図5】 端末情報ファイルの構成

【図6】 利用実績情報ファイルの構成

【図7】 ペイバック算出部の動作フローチャート

【符号の説明】

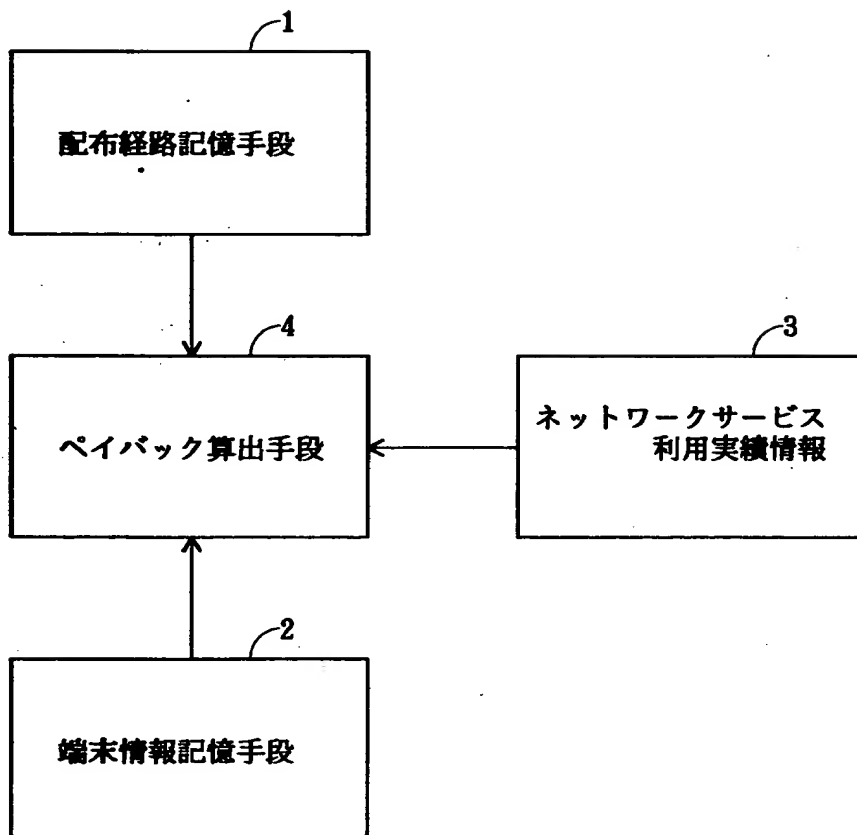
- 1 配布経路記憶手段

- 2 端末情報記憶手段
- 3 ネットワークサービス利用実績情報
- 4 ペイバック算出手段

【書類名】 図面

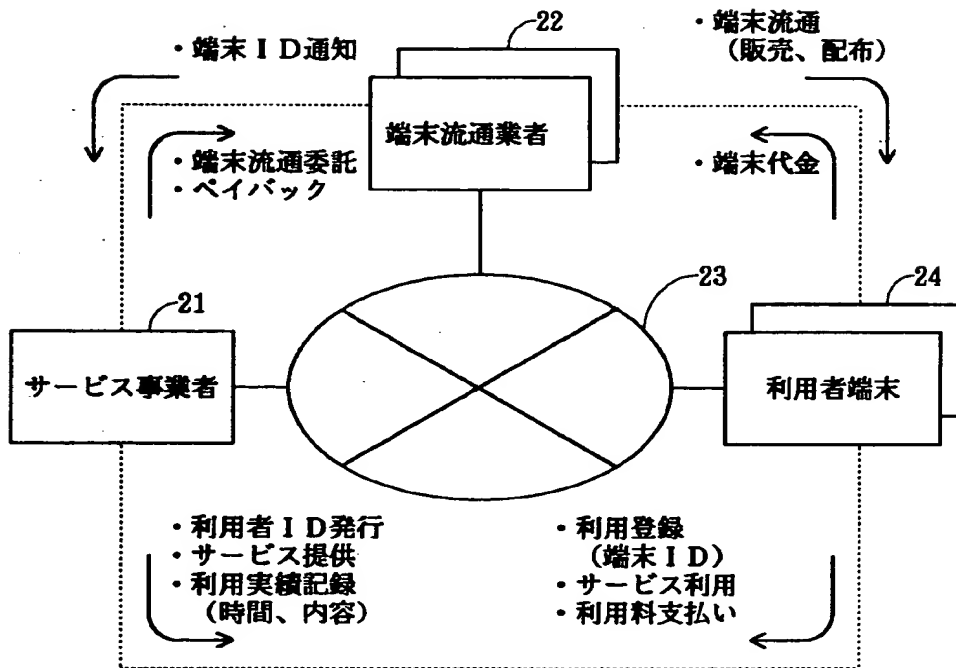
【図 1】

本発明の構成図



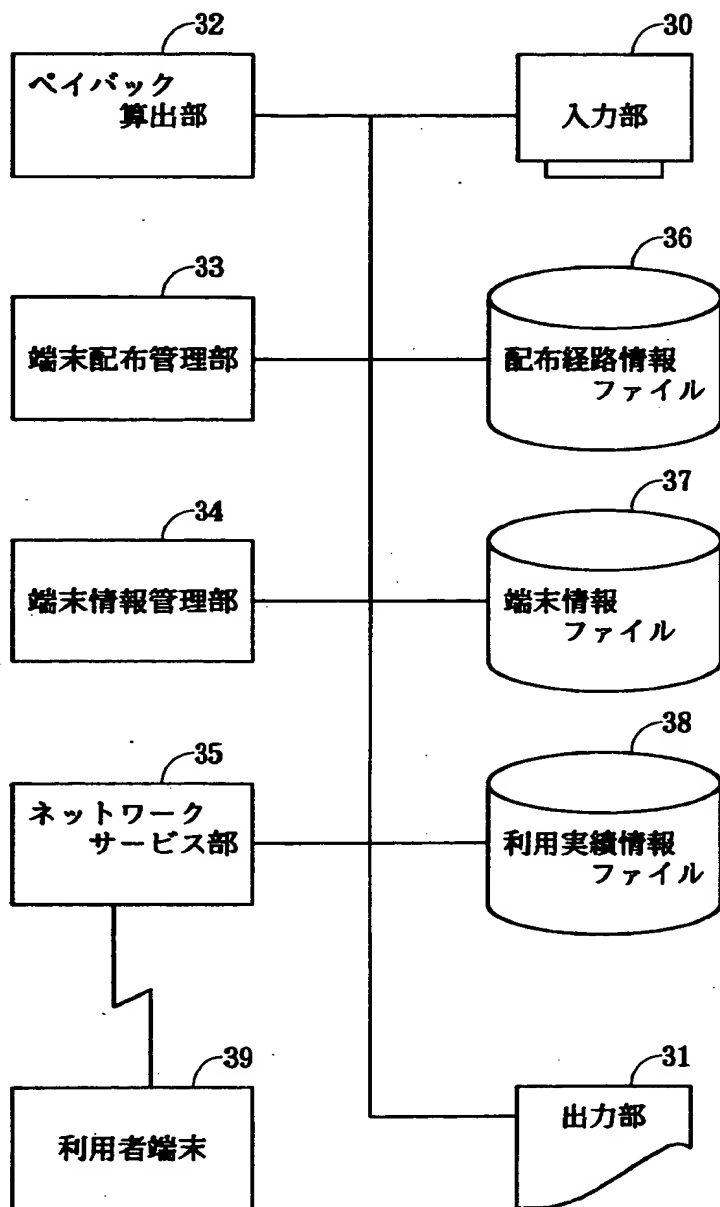
【図 2】

本発明の実施の形態の説明図



【図 3】

本発明の実施の形態の構成図



【図 4】

配布経路情報ファイルの構成

端末シリアル番号	端末流通業者 I D
AAA001	D001
AAA002	D002
AAA003	D003
AAA004	D001
AAA005	D005
BBB001~BBB099	D010

【図 5】

端末情報ファイルの構成

利用者 I D	端末シリアル番号
XXX001	AAA001
XXX002	BBB002
XXX003	BBB050
XXX004	AAA003
XXX005	AAA002

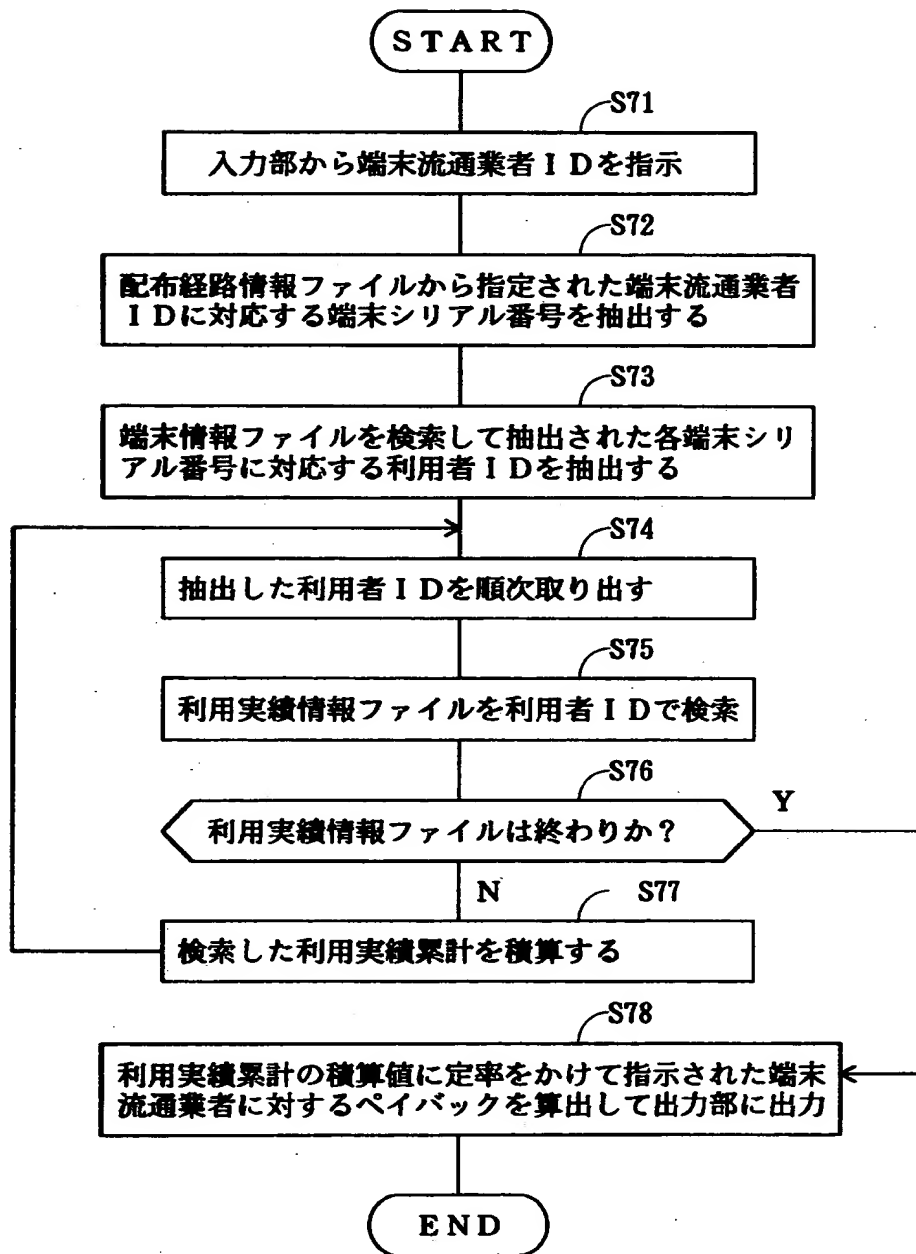
【図 6】

利用実績情報ファイルの構成

利用者 I D	登録日	利用実績累計
XXX001	19970120	12,000
XXX002	--	
XXX004	19981110	5,000
XXX005	19980130	10,000

【図 7】

ペイバック算出部の動作フローチャート



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 クライアントごとに有料で提供するネットワークサービスにともなうペイバックシステムに関し、クライアントを配布するディストリビュータの配布意欲、活用支援意欲を向上させるペイバック手段を提供することを目的とする。

【解決手段】 端末識別情報に対応して端末配布者を記憶する配布経路記憶手段と、顧客識別情報と顧客がネットワークサービス提供者に登録する端末識別情報とを対応させて記憶する端末情報記憶手段と、端末配布者ごとに、配布経路記憶手段に対応して記憶された端末識別情報に対応して、端末情報記憶手段に記憶された顧客識別情報に対応して、別途収集されたネットワークサービスの利用実績情報に基づいて、ネットワークサービス提供者が支払うペイバックを算出するペイバック算出手段とを備えるように構成する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社